

2024年5月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+42.8	大 宮 店	+7.0
堺 店	△3.3	柏 店	※2 △9.0
京 都 店	※1 +31.5	(株)高島屋各店計	+23.2
泉 北 店	△2.8	岡 山 高 島 屋	△15.7
日 本 橋 店	+21.8	岐 阜 高 島 屋	+14.6
横 浜 店	+12.1	高 崎 高 島 屋	+8.5
新 宿 店	+28.4	国 内 百 貨 店 計	+21.6
玉 川 店	+14.8		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、2023年9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+34.6%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

■ 概況

○店頭売上高(※既存店対比)は、前年比+21.6% 2019年比+24.1% 2018年比+24.2%といずれも上回りました。

国内顧客は、気温の上昇に伴いブラウス、カットソーや日傘、帽子などが堅調に推移しました。

また、インバウンドは、ラグジュアリーブランドを中心とする高額品が売上高を押し上げ、単月としては3ヶ月連続で過去最高を更新しました。

店頭売上高 前年比+21.6% 2019年比+20.6% (※+24.1%) 2018年比+20.5% (※+24.2%)

免税売上高 前年比+222.9% 2019年比+156.9% (※+157.4%) 2018年比+158.0% (※+158.8%)

免税を除いた店頭売上高 前年比+6.4% 2019年比+7.4% (※+10.9%) 2018年比+7.3% (※+10.9%)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、大宮店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、スポーツ、リビング、美術、サービスが前年実績を上回りました。